

## 莢エンドウのカルテック施肥例

(10アール当り)

| 時期                                 | 方法  | 資材  |
|------------------------------------|---|---|
| 地力作り                               | なるべく早い時期に(最低限、播種20日前迄に)投入し、深く耕します   | <p><b>ラクトバチルス 600グラム</b> … 排水・通気がよく、保水もよい土に。</p> <p><b>堆厩肥 2トン(以上)</b> (堆厩肥のC/N比に注意)<br/>※特に2年以上の連作をする場合は、堆肥・ワラ・有機物等をしっかり投入。</p> <p><b>硫安 40kg</b> (複合肥料ならN成分6~8kg程度)<br/>※播種時には無機チツソがあまり効いていない状態(土壌EC:0.2以下)が適切です。微生物がチツソを有機化するために、早めに投入して下さい。</p> <p>※もし土壌が酸性(pH:5.5以下)の場合は、<b>畑のカルシウム 60kg</b>程も同時に投入します(更に整地時にも)。好適pH:6.2~6.5。酸性に弱い。特に<b>土壌深層のpHも適正</b>になるように注意。</p> <p>※ただし土壌pHが6.7以上になる場合は 徒長や結莢悪化のおそれがあります。施肥体系のどこかが狂っていますから、全体的に見直しを。</p> |
| ウネ立て時                              | 整地時に全面散布して、ウネを作る(南北方向、高ウネ、適湿でマルチ)   | <p><b>畑のカルシウム 60kg</b><br/>※このカルシウムは 着莢を順調にし、栽培中のpH低下を防ぎます。</p>   |
| 播種後                                | 播種直後の灌水   | <p><b>濃縮酵素液</b> 1リットルほどを希釈・灌水…発根促進<br/>※(以後、発芽まで乾かないように灌水)</p>  |
| 誘引前                                | 草丈8cm時、支柱立て、ネット張り、誘引…その前に   | <p><b>濃縮酵素液</b> 1リットルほどを希釈・灌水…根から生長促進<br/>※草丈5cm頃に灌水(希釈倍率500倍ほど)<br/>※ツルの伸長と巻きヒゲの絡みを早く揃えます。立枯れ防止。</p>   |
| 開花・結莢期の灌水施用<br>※収穫前～始めの第1回追肥は液状が好適 | 土が乾かないよう注意して灌水する。右記3種を、最初は4日間隔で順に使用。(開花～収穫15日間に、液状で追肥)2巡目からは10日間隔で順に灌水。         | <p>① <b>カルテックCa液状 2リットル</b> (最初は開花始め前に)<br/>※開花・受精を促進。(いわゆる生殖生長への切り換え)</p>  |
|                                    |   | <p>② <b>濃縮酵素液 2リットル</b> (最初は結莢開始後に)<br/>※根の強化で肥大促進。下葉の枯れや根腐れの防止。</p>  |
|                                    |   | <p>③ <b>アミノ酸液 2~5リットル</b> (最初は子実肥大期に)<br/>※チツソ等の栄養補給。絹莢(長さ7cm)は2ℓ、大莢(長さ10cm)は4ℓ</p>   |
| 追肥(収穫中)<br>※(普通、第2回追肥と言われる)        | ※(もし第1回追肥に液肥を使わない場合は、2回繰返す)<br>収穫開始後20日頃。その後、収穫期間が延びれば毎月。                       | <p>併用</p> <p><b>硫安 20kg</b> … 豆と茎葉全体の生長を増進<br/>※(NPKの複合肥料では 極端なpH低下、EC上昇になりやすい)</p> <p><b>畑のカルシウム 20kg</b> … 莢・実の充実と成熟を促進<br/>※土のpHを5.5以下には、決してしないで下さい。<br/>※ただし硫安とカルシウムを混ぜたまま時間をおかないよう注意。</p>  |
| 収穫中の葉面散布による調節                      | 基本的には <b>3種交互</b> に、7~14日間隔で葉面散布。<br>状態により、どれかを連続散布。<br><u>更に強く作用させるには、灌水施用</u> | <p><b>濃縮酵素液</b> 500倍液を葉面散布(根・生長の促進)<br/>※根と茎の導管を強くし、根腐れ・風害・寒害・芯止り・枯上がりを防ぐ。</p> <p><b>アミノ酸液</b> 500倍液を葉面散布(充実・子実の肥大)<br/>※有機のチツソ作用で葉を厚く、豆を大きく、旨味をのせる。</p> <p><b>カルテックCa液状</b> 500倍で葉面散布(生育を引締め、病害対策)<br/>※過繁茂・徒長を抑え、連続して花着き・結莢を良くします。</p>  |

|  |  |   |
|--|--|---|
|  |  | ※ウドンコ, 灰色カビ, 褐斑を出さない。<br>※抗酸化成分(ビタミンC, E)を多くする。 |
|--|--|---|